

(お知らせ)

令和4年10月7日
海上幕僚監部
航空幕僚監部

令和4年度航空学生採用試験第1次試験化学試験問題における
不適切な出題について

令和4年9月19日(月)に実施した航空学生採用試験第1次試験理科の選択科目である「化学」において、下記のとおり不適切な出題が存在することが判明しましたので、お知らせいたします。なお、採点にあたっては、受験者に不利益が生じないように措置を講じ、第1次試験合格者を発表いたしました。

受験者並びに関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

1 出題箇所及び内容

航空学生採用試験(第1次試験)化学試験問題(選択科目)

問	内容
問10	問題文に誤字があり、正答がない。

※問題文等、細部は別添参照。

2 対応措置

受験者全員これらの問題を正解として取り扱うこととし、受験者に不利益が生じないように措置を講じました。

3 今後の対応

正確な試験問題が作成されるよう再発防止策を講じて参ります。

(問い合わせ先)

海上幕僚監部 人事教育部 人事計画課 募集推進室 坂本

航空幕僚監部 人事教育部 募集・援護課 募集班 本田

電話：03-3268-3111

(内線) 海上：50256、航空：60238

(参考)誤記があり、正答がない試験問題

No. 10 硫酸と銅の反応に関する記述として、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 銅 1mol と希硫酸 $\frac{8}{3}$ mol が反応し、一酸化窒素 $\frac{2}{3}$ mol が生じる。
- (2) 銅 1mol と希硫酸 4mol が反応し、二酸化窒素 2mol が生じる。
- (3) 銅 1mol と濃硫酸 $\frac{8}{3}$ mol が反応し、一酸化窒素 2mol が生じる。
- (4) 銅 1mol と濃硫酸 4mol が反応し、二酸化窒素 $\frac{2}{3}$ mol が生じる。
- (5) 銅 1mol と濃硫酸 4mol が反応し、気体は生じない。

⇒ 問および解答に記述されている「硫酸」が、すべて「硝酸」の記述ミスであり、硫酸 (H₂SO₄) と硝酸 (HNO₃) では、構成元素が異なるため酸化窒素 NO_x が生成されず、設問のどの解答も正解にはなり得ない。